

## 第 2 期庄内北部定住自立圏共生ビジョンの取組状況

### (1) 評価の基準について

成果指標 (KPI) について R4 の進捗率を 3 段階で評価

順調	進捗率 $\geq$ 100%
概ね順調	R2      100% > 進捗率 $\geq$ 20% (5 年計画の 1 年目)
	R3      100% > 進捗率 $\geq$ 40% (5 年計画の 2 年目)
	R4      100% > 進捗率 $\geq$ 60% (5 年計画の 3 年目)
	R5      100% > 進捗率 $\geq$ 80% (5 年計画の 4 年目)
遅れている	R4      進捗率 < 60% (5 年計画の 3 年目)

※ 進捗率 = 実績値 / 目安値

目安値 = 基準値 + (目標値 - 基準値) × 経過年数 / 事業年数

※ 目標値が基準値を下回る場合、進捗率 = 実績値 / 目標値 とする

※ 実績が出ていない項目については評価できないため、「—」とする。

### (2) 第 2 期庄内北部定住自立圏共生ビジョン連携事業の成果目標達成状況一覧

No.	政策分野	分類	連携する取り組み項目	連携事業名	評価
1	生活機能の強化	医療	休日および夜間における診療体制の充実	休日および夜間における診療体制の充実	順調
2			地域救急医療体制の充実支援	地域救急医療体制の充実支援	遅れている
3			医療機関の連携、ネットワーク化 (ちょうかいネット)	医療機関の連携、ネットワーク化 (ちょうかいネット)	概ね順調
4				調剤情報の共有、ネットワーク化 (ちょうかいネット)	概ね順調
5			看護師確保対策	看護師確保対策	概ね順調
6			がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大	がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大	概ね順調
7		福祉	児童センター、子育て支援センターの相互利用	児童センター、子育て支援センターの相互利用事業	概ね順調
8			病児・病後児保育施設の相互 (広域) 利用	病児・病後児保育施設の相互 (広域) 利用	遅れている
9			ファミリーサポートセンターの相互 (広域) 利用	ファミリーサポートセンターの相互 (広域) 利用事業	概ね順調
10			介護関係職員の連携強化	包括的継続的ケアマネジメント事業	概ね順調
11			地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)利用支援	地域密着型サービス (認知症対応型共同生活介護) 広域利用事業	遅れている

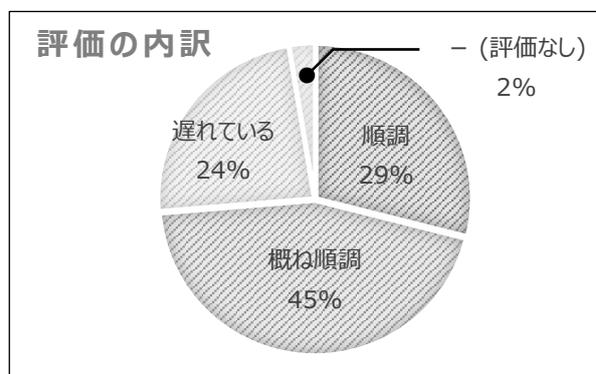
No.	政策分野	分類	連携する取り組み項目	連携事業名	評価	
12	生活機能の強化	教育	スポーツ振興の推進	スポーツ少年団の大会等の開催および県駅伝実行委員会への支援	概ね順調	
13				スポーツ大会の開催および支援事業	遅れている	
14			文化振興事業の推進	文化芸術活動への参加の促進	概ね順調	
15			生涯学習・社会教育事業の相互利用の推進	生涯学習・社会教育事業の相互利用事業	遅れている	
16			文化財の保護および利活用の推進	文化財の保護および利活用推進事業	遅れている	
17		産業振興	圏域観光物産事業の推進	観光振興・物産振興事業	-	
18				北庄内地域通訳案内士育成事業	順調	
19				鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業	順調	
20				酒の酒田の酒まつり事業	順調	
21				家族の時間づくりプロジェクト	概ね順調	
22				企業振興、企業誘致等の推進	企業誘致活動の共同実施	順調
23			企業振興の推進		遅れている	
24			創業の促進	創業塾の開催	遅れている	
25			高校生の地元定着の促進	地元企業情報等の提供	概ね順調	
26			育苗施設の広域利用	庄内北部地域花き育苗施設利用拡大事業	順調	
27		その他	相談事業の拡大	相談事業の拡大	概ね順調	
28			男女共同参画推進センターの広域利用	酒田市男女共同参画推進センターの機能拡充事業	遅れている	
29			ボランティア・公益活動センターの広域利用	酒田市ボランティア・公益活動センターの機能拡充事業	概ね順調	
30			国際交流サロンの広域利用	酒田市国際交流サロンの機能拡充事業	概ね順調	
31			森林環境の保全	森林病虫害等被害対策事業	順調	
32			消防防災・災害対応体制の充実	消防防災・災害対応体制の充実	順調	
33		結びつきやネットワークの強化	交通インフラ整備	国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進事業	概ね順調	
34				山形新幹線庄内延伸促進事業	順調	
35			市町道ネットワークの向上	地域間連絡道路の安全な通行確保と効率的な維持管理	順調	
36			地域公共交通	地域公共交通ネットワークの構築	地域公共交通の導入検討	順調
37			その他	婚活支援事業の拡大	婚活支援事業の拡大	概ね順調
38		圏域マネジメント	職員等の交流	合同研修および人事交流の実施	合同研修・人事交流事業	概ね順調

### (3) 第2期ビジョン連携事業の成果目標達成状況（まとめ）

第2期ビジョンの連携事業の38項目の評価の内訳は以下のとおり。

( ) 内は前年度の件数

- ・ 順調 11件（8件）
- ・ 概ね順調 17件（8件）
- ・ 遅れている 9件（15件）
- ・ —（評価なし） 1件（7件）



令和4年度は5年計画の3年目となるが、コロナ禍からの回復に伴い「遅れている」（評価基準：進捗率<60%）事業は昨年度よりも減少し、「順調」と「概ね順調」が7割となった。オンラインでの開催も浸透してきており、事業への参加者が戻りつつある。

なお、「—」（評価なし）の事業は、新型コロナウイルス感染症対策により、事業実績がないものである。

### (4) 各事業の取組状況（令和4年度末時点）

No.1	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>休日および夜間における診療体制の充実</b>		
事業内容	医師会・薬剤師会および日本海総合病院と連携して、休日診療所および夜間診療を開設し、関係市町および医療関係団体並びに各種メディアを通じて、休日診療所および夜間診療の適正な利用に関する普及啓発活動を行う。		
成果指標（KPI）	休日診療所・夜間診療の開設率		
取り組み状況・ 具体的成果	各市町の広報誌やホームページにより、圏域住民が利用可能である旨の周知を図っている。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
100.0% (R1)	100.0%	100.0%	100.0%
課題・今後の 方向性	新型コロナ感染防止対策を講じたうえで、診療所を開設している。引き続き、各市町の広報誌やホームページにより、圏域住民が利用可能である旨を周知し、診療体制の充実を図っていく。		

No.2	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 庄内、遊佐
連携事業	<b>地域救急医療体制の充実支援</b>		
事業内容	救急医療体制充実強化のため、酒田市が事務局となって運営する「酒田地区救急医療対策協議会」において、救急医療の課題抽出およびその解決策の検討を行うとともに、住民に対する普及啓発等の施策を実施する。		
成果指標（KPI）	救命講習等の受講人数		
取り組み状況・ 具体的成果	救急の日、救急医療週間及び応急手当講習受講推進キャンペーン時に消防各署を中心に管内の住民に対して、救急業務及び救急医療に対する正しい理解と認識を深めるための広報及び啓発活動を実施した。命の大切さや救命法の重要性を学童期から根付かせ、将来的に救急救命講習受講の裾野を広げていくために小学生を対象した救命講習を実施し102人が受講した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
3,447 人 (R1)	3,500 人	1,618 人	888 人
課題・今後の 方向性	新型コロナウイルス感染症が5類に移行となったことを踏まえ、本地区救急医療体制の現状や救急車の適正利用などについて、「救急の日」、「救急医療週間」にあわせて、普及啓発、広報活動を行う。通常の救急救命講習に加え、引き続き小学生を対象とした救命講習の普及に努め将来的な救急講習受講者の裾野拡大を図る。AEDの女性に対する適時の使用、心理的抵抗感の軽減を図るために、女性に配慮した使用方法の普及資料を配布する。		

No.3	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>医療機関の連携、ネットワーク化（ちょうかいネット）</b>		
事業内容	住民に対し、一貫した治療方針のもと切れ目のない医療を提供する医療連携体制を構築するため、関係医療機関による医療情報の共有化を図る。		
成果指標（KPI）	ネットワークへの参加医療機関数		
取り組み状況・ 具体的成果	酒田地区医療情報ネットワーク協議会が作成したリーフレット等により、窓口での配布や広報誌を通じて、広くちょうかいネットの周知を行っている。（参加医療機関は増加し、患者数は横ばいである）		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
143 施設 (R1)	200 施設	160 施設	161 施設
課題・今後の 方向性	住民への周知を引き続き実施し、継続的なネットワークの拡充を行う。お薬情報共有システムとの連携等機能の拡充を図る。		

No.4	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 庄内、遊佐
連携事業	<b>調剤情報の共有、ネットワーク化（ちょうかいネット）</b>		
事業内容	医療費の抑制や服薬指導の効率化を図ることを目的に、ちょうかいネット運営の中核となっている医療機関および薬剤師会との連携強化を図り、ネットワークへの参加医療機関（薬局）の増加に向けた支援を行う。		
成果指標（KPI）	ネットワークへ参加調剤薬局数		
取り組み状況・ 具体的成果	システムの運用によって重複処方や禁忌などの指導が店頭で実施された。また、これらのデータはポリファーマシーの運用にも生かされた。（参加医療機関、登録者数ともに横ばいである）		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
49 店 (R1)	61 店	45 店	45 店
課題・今後の 方向性	更に登録者数を募り、医療費の適正化を推進するとともに、管内の調剤薬局全てから事業へ参加していただけるよう普及啓発を図る。		

No.5	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>看護師確保対策</b>		
事業内容	県の地域医療ビジョン等を踏まえ、地域における看護師の需給状況を把握し、酒田看護専門学校の学生募集活動や圏域医療機関への定着に向けた取り組みを行う。		
成果指標（KPI）	酒田看護専門学校の圏域内医療機関への就職率		
取り組み状況・ 具体的成果	令和5年度の学生募集については、庄内地区、新庄市内の高等学校訪問やオープンキャンパス及び学校ガイダンスにも積極的に参加するなど本校のPR活動を実施した。 また、ホームページのリニューアルや高等教育修学支援新制度の確認校として承認を受けるとともに、本市独自に入学金、授業料の減免の拡充や学生への各種支援制度の創設した。さらに学生の福祉向上等を目的に令和5年3月24日に教育後援会を設立した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
71.4% (R1)	75.0%	65.4%	58.3%
課題・今後の 方向性	令和5年度は、7年ぶりに定員を上回る32名の入学生を確保することができた。しかし、今後も少子化が進むことが見込まれていることから、優秀な学生の確保が大きな課題となる。 引き続き、看護教育環境の更なる充実に努めるとともに、学生のニーズ等を踏まえ各種支援制度の充実に努めていく。		

No.6	政策分野 生活機能の強化	分類 医療	協定町 庄内、遊佐
連携事業	<b>がん検診受診率向上に向けた取り組みの拡大</b>		
事業内容	がん検診の周知啓発を図るためのチラシ作成やキャンペーン、講演会などを開催する。また、職域と連携し、受診状況の実態調査と受診勧奨を行う。		
成果指標（KPI）	各種がん検診の受診率		
取り組み状況・ 具体的成果	庄内南部・北部定住自立圏共催で、10月8日に「がん検診受診率向上対策キャンペーン」を実施した。		
基準値（H30）	R06 目標	R04 実績	R05 実績 （R5.8.31 時点）
（胃がん） 酒 28.5% 庄 39.8% 遊 41.9% （子宮がん） 酒 55.8% 庄 60.1% 遊 38.1% （乳がん） 酒 46.3% 庄 50.9% 遊 31.7% （肺がん） 酒 57.5% 庄 59.0% 遊 65.4% （大腸がん） 酒 48.6% 庄 56.5% 遊 59.8%	各市町各検診すべて 50%以上	（胃がん） 酒 24.5% 庄 40.3% 遊 36.6% （子宮がん） 酒 56.2% 庄 56.1% 遊 55.1% （乳がん） 酒 43.9% 庄 50.1% 遊 37.9% （肺がん） 酒 57.1% 庄 58.8% 遊 65.5% （大腸がん） 酒 47.9% 庄 53.4% 遊 61.5%	—
課題・今後の 方向性	引き続き各市町と連携しながら、受診率向上に向けてより効果的な内容のキャンペーンを実施し、普及啓発を図る。		

No.7	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>児童センター、子育て支援センターの相互利用事業</b>		
事業内容	酒田市が設置する児童センター並びに酒田市、三川町、庄内町および遊佐町が設置する子育て支援センターの利用および同所にて実施する育児相談、育児講座等の事業について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	酒田市外の利用者数の割合		
取り組み状況・ 具体的成果	児童センター・支援センターの相互利用が可能であることが普及しているため、特段のPRはしていない。 令和4年度の利用者29,607人のうち、市外利用者は3,701人で、全てが圏域内の住民ではないが、日常的に利用されている。市主催の育児講座についても同様で、圏域内の方については、酒田市民と同等の取り扱いとして受け入れている。 令和4年度は、コロナの影響もあり、市外利用者が減少した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
16.0% (H30)	16.0%	12.5%	17.9%
課題・今後の 方向性	令和2年度に庄内町、三川町でも子育て支援センターが開設され、利用者は分散傾向にある。また、令和4年度も新型コロナウイルスの影響で、感染予防ができない乳幼児を連れての外出を自粛する傾向があったと考えられるが、令和5年度に入り、5類移行後、徐々に市外からの利用が戻りつつあると思われる。		

No.8	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>病児・病後児保育施設の相互（広域）利用</b>		
事業内容	病児・病後児保育施設「あきほ病児・病後児保育所」、病児・病後児保育施設「にこっと」（三川町）および病児・病後児保育施設「ほっと」（庄内町）について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	広域利用件数		
取り組み状況・ 具体的成果	ホームページ等で施設の広域利用ができることを周知している。あきほ病児病後児保育所の広域利用は、遊佐町8件、庄内町9件、三川町21件。三川町にこっとの利用は酒田市14件、庄内町ほっとの利用は酒田市4件となっている。なお、あきほ病児病後児保育所の利用実績は、感染症の流行の状況により利用件数が減少した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
88 件 (H30)	100 件	38 件	14 件
課題・今後の 方向性	病児・病後児保育に対する需要は高いため、今後もこの事業内容を維持していく。		

No.9	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>ファミリーサポートセンターの相互（広域）利用事業</b>		
事業内容	酒田市および庄内町が実施するファミリーサポートセンター事業について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標（KPI）	広域会員数		
取り組み状況・ 具体的成果	圏域内の住民で11件の登録があるが、日常的に利用している方はなく、いざという時のための登録と思われる。行政区域を越えて子どもを預ける場合、他町の保育園や小学校に子どもを迎えに行き、協力会員の自宅へ戻り保育することから、送迎に1時間程度を要するなど、協力会員の負担が大きく、本来は地域での預かりが望ましい。そのため積極的な利用促進についての取り組みはしていない。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
12人 (R1)	13人	11人	11人
課題・今後の 方向性	平成31年度からセンター設立の要件が、50人から20人に緩和され、事業の実施が容易になったことで、庄内町でもセンターを設立された。行政区域を越えた援助依頼は、協力会員の負担が大きく、マッチングが成立しづらい傾向にあることから、行政区域を越えての登録は減少すると思われる。		

No.10	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 庄内、遊佐
連携事業	<b>包括的継続的ケアマネジメント事業</b>		
事業内容	包括的継続的ケアマネジメント事業として、他職種協働に向けた研修や講演会を開催する。		
成果指標（KPI）	研修会・講演会の参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	研修会3回実施（すべてZOOM）、参加者226人。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
295人 (H30)	400人	226人	58人
課題・今後の 方向性	コロナの流行を判断しながら、ZOOMを活用するなど工夫をして研修の機会を確保する。		

No.11	政策分野 生活機能の強化	分類 福祉	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業</b>		
事業内容	認知症対応型共同生活介護サービス事業所（認知症高齢者グループホーム）について、住民が相互に利用できるようにするとともに、各市町のグループホームの情報を共有し、利用可能な施設への誘導を行う。		
成果指標（KPI）	各町にある認知症対応型共同生活介護サービス事業所の酒田市民の利用者数		
取り組み状況・ 具体的成果	4事業所で合計7人の利用となっている。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
9人 (R1)	15人	7人	7人
課題・今後の 方向性	各市町のグループホームの情報を共有し、利用可能な施設への誘導を行う。		

No.12	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 遊佐
連携事業	<b>スポーツ少年団の大会等の開催および県駅伝実行委員会への支援</b>		
事業内容	酒田市・遊佐町のスポーツ少年団（野球・サッカー・バレー・バスケット・卓球・剣道）6種目の大会と、同スポーツ少年団のスポーツ交流事業を実施するとともに、県駅伝酒田飽海実行委員会に対する支援を行う。		
成果指標（KPI）	実施競技数と両市町参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	子ども達の大会参加の機会を確保するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら、6専門部会がスポ少本部大会を実施した。また、酒田市・遊佐町のスポーツ少年団員の競技の垣根を越えた交流を図ることができた。 県縦断駅伝、県女子駅伝は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しながら大会が開催された。県駅伝酒田飽海地区実行委員会活動として、大会参加及び合同練習会を実施した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
1,140人 (R1)	1,030人	952人	937人
課題・今後の 方向性	スポーツ少年団員数の減少は今後も進んでいくと思うが、酒田市・遊佐町の交流と子ども達の大会参加の機会を確保するため、今後もスポ少本部大会（6専門部会）を実施していく。		

No.13	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>スポーツ大会の開催および支援事業</b>		
事業内容	スポーツ大会の開催および共催する大会への支援をおこない、住民のスポーツ振興を図る。		
成果指標（KPI）	主催大会への圏域住民の参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	交流人口の拡大を目的としたスポーツツーリズムに取り組むため、コロナ禍で3年ぶりに第11回湊酒田つや姫ハーフマラソン大会を開催した。全国31都道府県、1,065人のエントリーをいただき、コロナ対策として実施種目をハーフと10キロの2種目に限定した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
834人 (R1)	1,000人	332人	—
課題・今後の 方向性	コロナ禍で2大会続けて中止をした影響もあり、エントリー数が伸び悩んでいる。圏域住民を含めエントリー数を増加させるため、大会PR等に力を入れて全国規模の大会となるよう進めていきたい。		

No.14	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>文化芸術活動への参加の促進</b>		
事業内容	ホールで実施する事業について、広域的に広報活動を行うとともに、酒田市が実施する体験型ワークショップ等に住民が参加できるようにする。		
成果指標（KPI）	酒田市外の圏域参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	各イベントの開催にあたり、三川町、庄内町、遊佐町の公共施設等にもチラシを配置し、参加者を募集している。また、ホームページなどを情報源として、圏域から参加する人がいた。特に演劇WSには市外圏域の劇団関係者が多く参加した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
36人 (H30)	43人	27人	1人
課題・今後の 方向性	引き続き事業の周知に努め、参加者の拡大につなげる。		

No.15	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>生涯学習・社会教育事業の相互利用事業</b>		
事業内容	各市町が実施する生涯学習・社会教育の各種講座等について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	酒田市の講座事業への圏域からの参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	各種講座開催の周知にあたり、市広報やHPに三川町、庄内町、遊佐町在住の方も受講可能であることを明記し募集を行った。実際、それら媒体を情報源として参加した人がいた。また、ほとんどの講座でインターネット経由など窓口に来なくても申し込めるよう設定している。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
18人 (H30)	40人	7人	1人
課題・今後の 方向性	引き続き周知に努め、参加者の拡大につなげる。		

No.16	政策分野 生活機能の強化	分類 教育	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>文化財の保護および利活用推進事業</b>		
事業内容	圏域内における文化遺産の情報を相互に周知するとともに、有形文化財の展示や無形文化財の公演等の相互交流事業を推進する。		
成果指標 (KPI)	酒田市民俗芸能フェスティバル・遊佐町民俗芸能祭の観覧者数		
取り組み状況・ 具体的成果	令和4年度は、11月に酒田市民俗芸能フェスタを開催した。(場者数168人、出演団体6団体) 遊佐町からの出演団体はなかった。(市外の団体としては、鶴岡市より温海嶽熊野神社獅子舞保存会が出演)		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
926人 (H30)	1,000人	200人	0人
課題・今後の 方向性	令和4年度より市の酒田市民俗芸能フェスタに係る予算が無くなり保存会主体の開催に変わったことに伴い、出演団体への出演料も大幅に減額せざるを得なくなったことから、遠方からの招聘は難しく、出演実績の無い庄内町や三川町の団体を招くことも検討していく必要がある。なお、令和5年度は12月に遊佐町と鶴岡市から各1団体の出演団体を迎えて開催を予定している。		

No.17	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 庄内、遊佐
連携事業	<b>観光振興・物産振興事業</b>		
事業内容	観光誘客および周遊化への誘導に取り組むとともに、首都圏や仙台等での物産展への参加や観光PR活動を行う。		
成果指標（KPI）	クルーズ船受入時の物販参加町数		
取り組み状況・ 具体的成果	コロナ禍によりクルーズ船の寄港が無く、実績無し。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
2 町 (R1)	2 町	— (コロナ対応により実績なし)	3 町
課題・今後の 方向性	クルーズ寄港時には、三川町、庄内町、遊佐町と協力し、ふ頭においておもてなしイベントを実施していく。		

No.18	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 庄内、遊佐
連携事業	<b>北庄内地域通訳案内士育成事業</b>		
事業内容	外国人観光客の受入体制の充実を図るため、歴史・文化など圏域の魅力を伝える北庄内地域通訳案内士を養成する。		
成果指標（KPI）	スキルアップ研修の実施		
取り組み状況・ 具体的成果	新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド観光の回復に備えるため、地域通訳案内士のスキルアップによる顧客満足度向上を図る研修を開催した（全1回）。地域通訳案内士のほか希望者のべ21名参加。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
1 回 (R1)	1 回	1 回	0 回
課題・今後の 方向性	現在認定者は14名。クルーズ船の再開等によりインバウンドが再開されれば、不足を生じる可能性もあるが、新規の育成には費用がかかる。 令和5年度の時期と内容は未定だが実施の予定。		

No.19	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	<b>鳥海山・飛島ジオパーク推進事業</b>		
事業内容	看板や解説板等の整備、住民の機運を醸成するとともに、案内ガイドの養成を行い、ジオパークの名所を巡るツアーを関係市町で連携・協力し実施する。		
成果指標（KPI）	ジオガイドを活用したツアー数		
取り組み状況・ 具体的成果	ジオガイドスキルアップ講座の実施にあたり、遊佐町のガイドからも参加いただいている。逆に遊佐町の講座に酒田市のガイドが参加したりと相互交流及び相互学習が進み、それぞれのガイドが近隣の市町のガイドもできるように養成を図っている。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
32 本 (H30)	30 本	78 本	74 本
課題・今後の 方向性	ユネスコ世界ジオパークへ認定に向けて、引き続きガイド養成や環境保全活動など、ジオパーク推進協議会と連携し、住民参加型の活動を中心に必要な取り組みを推進していく。		

No.20	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	<b>酒の酒田の酒まつり事業</b>		
事業内容	寒鱈まつりに合わせ圏域の地酒の試飲イベントを開催し、地酒と食をPRする。		
成果指標（KPI）	酒の酒田の酒まつりでの有料試飲売上額		
取り組み状況・ 具体的成果	寒鱈まつりと同日開催で、酒田市と遊佐町にある九つの酒蔵の銘酒を試飲出来る「酒の酒田の酒まつり」を行った。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
296,050 円 (H30)	180,000 円	324,000 円	589,500 円
課題・今後の 方向性	来年度も、令和4年度、5年度の実施状況を踏まえ、酒まつりを実施することとしているが、事業のあり方については検討していく必要がある。		

No.21	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	<b>家族の時間づくりプロジェクト</b>		
事業内容	酒田祭りの開催日に合わせ、学校を休業日とする「ふるさと休日」を設定する。		
成果指標（KPI）	ふるさと休日（終日）に取り組む小・中学校数		
取り組み状況・ 具体的成果	ふるさと休日の促進に関し、タペストリーを総合文化センターに掲出したほか、ホームページで周知に努めた。また、酒田まつりの開催に合わせ山形新聞に広告を掲載した。酒田市・遊佐町の対象全34校のうち、全日休は22校だったが、半日休も11校のため、ほとんどの学校で取り組みを行った。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
34校 (R1)	34校	22校	30校
課題・今後の 方向性	今後も同様に取り組む。なお、令和5年度は酒田まつり開催日が土曜日だったため、酒田市・遊佐町の対象全30校が全日休となった。		

No.22	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	<b>企業誘致活動の共同実施</b>		
事業内容	酒田・遊佐工業団地企業誘致促進協議会による企業訪問や企業誘致関連セミナーへの出展などを通じて、企業誘致に係る情報発信および情報収集を行う。		
成果指標（KPI）	企業誘致活動の継続実施		
取り組み状況・ 具体的成果	酒田・遊佐工業団地企業誘致促進協議会による企業訪問などを通じて、企業誘致に係る情報発信及び情報収集を行った。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
継続実施 (R1)	継続実施	継続実施	継続実施
課題・今後の 方向性	酒田・遊佐工業団地企業誘致促進協議会による企業訪問などを行い、企業誘致に係る情報発信及び情報収集を行う。		

No.23	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>企業振興の推進</b>		
事業内容	さかた産業フェアへの出展対象企業について、酒田市以外の各町に事業所がある企業に拡大する。		
成果指標（KPI）	各町からの出展企業数		
取り組み状況・ 具体的成果	令和4年度は、オンラインによる市内企業の紹介と市役所等でのパネル展により実施した。令和4年度の実施状況と成果を踏まえ、今後の事業のあり方を検討していく必要がある。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
4社（R1）	3社	0社	— (開催せず)
課題・今後の 方向性	近年の誘致・立地企業については、情報・IT業など、多様に渡るようになっている。その点を踏まえながら、あり方や方向性を再度整理したい。		

No.24	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 遊佐
連携事業	<b>創業塾の開催</b>		
事業内容	地域経済の活性化および雇用の創出を図るため、酒田市および遊佐町が商工会議所、商工会と連携し、創業塾の開催等の創業を支援する取り組みを行う。		
成果指標（KPI）	創業塾受講者数		
取り組み状況・ 具体的成果	酒田商工会議所の主催により、「創業塾2022」を開催した。全6日間の日程で、計9名が受講し、うち2名が令和4年12月までに創業した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
22人（H30）	30人	9人	14人
課題・今後の 方向性	創業後間もない事業者のビジネスプラン作成の基礎知識習得のため、今後も継続して「創業塾」を開催していく。		

No.25	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 庄内、遊佐
連携事業	<b>地元企業情報等の提供</b>		
事業内容	地元企業情報等を、圏域内の高等学校に提供し、高校生から地元企業を知ってもらうとともに就職活動の際に活用してもらい、地元就職を促進する。		
成果指標 (KPI)	HW酒田管内 新規高卒就職希望者の県内就職率		
取り組み状況・ 具体的成果	ハローワーク酒田管内の事業所に対し「高校生の地元企業個別訪問に係るアンケート調査」を実施し、「個別訪問が可能」と回答した事業所の業務内容やPR、訪問方法などをまとめ、圏域内の各高校に配付するとともにホームページに掲載し、高校生の地元就職の促進、ミスマッチ解消に努めた。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
①63.7% (H30) ②56.0% (R01)	(5年平均) 70.0%	①56.0% (R01) ②67.6% (R02) ③69.0% (R03) ④65.6% (R04)	—
課題・今後の 方向性	今後はデジタルの媒体も活用し、継続して実施していく。		

No.26	政策分野 生活機能の強化	分類 産業振興	協定町 庄内
連携事業	<b>庄内北部地域花き育苗施設利用拡大事業</b>		
事業内容	産地化の拡大・強化を図るため、庄内町が設置し、(株)庄内町種苗センターが指定管理者として運営している育苗施設について、広域で利用できるように調整する。		
成果指標 (KPI)	育苗センターの利用農家軒数		
取り組み状況・ 具体的成果	庄内みどり農協管内ではトルコキキョウの苗を購入している。生産者の高齢化により年々利用者は減っている。袖浦農協管内ではトルコキキョウに加えてキンギョソウの苗も購入している。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
7 軒 (R1)	10 軒	11 軒	4 軒
課題・今後の 方向性	引き続き育苗施設の利用に関する周知を行っていく。		

No.27	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>相談事業の拡大</b>		
事業内容	弁護士による無料相談会並びに市民生活相談員および消費生活相談員による相談事業について、住民が相談を受けられるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	①市民相談件数 ②消費生活相談件数		
取り組み状況・ 具体的成果	弁護士による無料法律相談の日程を各町に連絡し、無料法律相談の申込みを受け付けている。120件中、三川町3件、庄内町9件、遊佐町2件となっている。相談員による市民相談、消費相談、電話相談も行っている。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
①478 件 (H30) ②767 件 (H30)	①480 件 ②770 件	①450 件 ②775 件	①263 件 ②286 件
課題・今後の 方向性	今後も継続して実施していく。		

No.28	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>酒田市男女共同参画推進センターの機能拡充事業</b>		
事業内容	酒田市男女共同参画推進センター「ウイズ」で実施する各種講座や相談対応等について、住民が参加・利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	ウイズ相談受付件数		
取り組み状況・ 具体的成果	ウイズ講座の開催情報を各町担当部署を通じて周知し、各町住民8名の参加があった。また、相談対応は各町住民も利用できる体制をとっている。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
42 件 (H30)	45 件	21 件	14 件
課題・今後の 方向性	引き続きウイズ講座の開催情報の周知と、相談対応の体制を継続する。		

No.29	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>酒田市ボランティア・公益活動センターの機能拡充事業</b>		
事業内容	酒田市ボランティア・公益活動センターが実施する情報発信や相談業務について、住民が参加・利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	①センターへの相談件数 ②研修会参加者数		
取り組み状況・ 具体的成果	各町の社会福祉協議会を通して、ボランティア・公益活動センターのPRを継続するとともに、センターだよりを各町役場に送付しPRしている。相談件数は、3町在住者7件。コロナの影響が残る中、受け入れ団体の理解と協力があり、夏のボランティア体験を実施した。市内高校に通う3町在住の参加者は5名となっている。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
①627件 (H30) ②234件 (H30)	①700件 ②270人	①490件 ②196人	①160件 ②96人
課題・今後の 方向性	今後も、関係機関と連携を進め、ボランティア活動への助言、コーディネート機能を強化していく。 人口減少や団体の高齢化等、活動の担い手が減少している中ではあるが、一定の参加者確保に努めていく。		

No.30	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>酒田市国際交流サロンの機能拡充事業</b>		
事業内容	酒田市国際交流サロンで実施する各種イベント等について、住民が利用できるようにするとともに、その情報提供を行う。		
成果指標 (KPI)	各種イベント等の実施回数		
取り組み状況・ 具体的成果	各国の文化や歴史に触れたり講師との交流を目的に開催しているトラベリングデイを1回開催した。また、国際交流まつり、世界の料理でお誕生日会を1回開催した。イベントへの参加は各町住民も参加できる体制をとっている。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
3回 (R1)	4回	3回	2回
課題・今後の 方向性	引き続き、イベント等には3町からの参加者も受け入れる体制を取り、異文化交流を実施していく。		

No.31	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 遊佐
連携事業	<b>森林病虫害等被害対策事業</b>		
事業内容	両市町が連携を図り、松くい虫被害の防除を実施する。		
成果指標 (KPI)	被害材積量		
取り組み状況・ 具体的成果	関係市町が連携を図り、松くい虫被害の防除を実施した。		
基準値	R06 目標 (目標値を下回ること)	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
11,815 m <sup>3</sup> (R1)	6,300 m <sup>3</sup>	2,780.67 m <sup>3</sup>	2,978.02 m <sup>3</sup>
課題・今後の 方向性	国・県・市・町の森林担当部署においては「松くい虫防除プロジェクト会議」などにより連携を図っているが、企業所有地など民有地での松枯れ被害も目立ってきていることから、民間への啓発活動・駆除要請等についても実施していく必要がある。		

No.32	政策分野 生活機能の強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>消防防災・災害対応体制の充実</b>		
事業内容	関係市町の情報共有、連携強化のための組織を設置するとともに、災害備蓄、災害対応資機材の計画的整備や広域避難を推進する。		
成果指標 (KPI)	情報交換会開催数		
取り組み状況・ 具体的成果	庄内地域地震・津波災害対策連絡協議会や鳥海山火山防災協議会 (ZoomによるWeb会議) に参加し情報共有を図った。女性対象の防災リーダー育成研修会には、3町から2名参加があった。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
1回 (R1)	1回	1回	1回
課題・今後の 方向性	担当者間の情報交換を密にすることで、有事の際の体制・対応を万全なものとする。災害種別に応じた、自治体の枠にとられない広域的な避難方法の調整を進めていく。		

No.33	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 インフラ	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進事業</b>		
事業内容	同盟会への参画を通じて整備促進に向けた各種活動を展開する。		
成果指標 (KPI)	供用率 (供用延長/計画延長50 k m)		
取り組み状況・ 具体的成果	7/14に国土交通省酒田河川国道事務所へ、7/25に国土交通省山形河川国道事務所、東北地方整備局へ、7/26に国土交通本省、財務省、県選出国會議員等へ、8/10に山形県最上総合支庁へ、それぞれ要望活動を実施した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
42.6% (H30)	61.4%	42.6%	42.6%
課題・今後の 方向性	早期目標達成のため、今後も要望活動は、継続する。		

No.34	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 インフラ	協定町 庄内、遊佐
連携事業	<b>山形新幹線庄内延伸促進事業</b>		
事業内容	陸羽東西線利用推進協議会への参画等を通じて山形新幹線の庄内延伸に向けた要望活動を展開する。		
成果指標 (KPI)	山形新幹線庄内延伸の事業化に向けた要望活動		
取り組み状況・ 具体的成果	陸羽西線の輸送改善と高速化、山形新幹線の庄内延伸について、庄内地方重要事業要望、酒田市重要事業要望において要望を行った。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
2回 (R1)	2回	2回	2回
課題・今後の 方向性	令和4年5月から陸羽西線が運休止、バスによる代行輸送を行っている。令和6年度中のバス代行輸送終了後についても、山形県、他自治体と協力して陸羽西線の利活用・存続について取り組んでいく。		

No.35	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 インフラ	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>地域間連絡道路の安全な通行確保と効率的な維持管理</b>		
事業内容	地域間にある道路改良を行なうほか、橋りょうおよびトンネル等の道路施設を長寿命化するための計画を策定し、修繕工事を実施する。また、地域間道路における除雪では、路線交換等により効率化やコストの縮減に努める。		
成果指標（KPI）	事業実施数		
取り組み状況・ 具体的成果	橋りょう長寿命化計画に基づく設計を継続的に実施した。 道路改良事業は、庄内町で工事实施中、酒田市は測量設計業務を実施した。 除雪交換路線は、昨年度と同様、三川町と実施している。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
4 事業 (R1)	5 事業	5 事業	5 事業
課題・今後の 方向性	橋りょう延命化及び道路改良・舗装補修は、財源である交付金の確保に努めながら、継続的に事業実施していく。 5年に一度実施するトンネル（綱取隧道）の法定点検を、遊佐町と本市との管理割合に応じて費用を負担し合い、共同発注を行い連携を図っている。（R5年度実施中） 除雪交換についても、他町との連携を深め、更なる事業の効率化を検討していく。		

No.36	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 地域公共交通	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>地域公共交通の導入検討</b>		
事業内容	地域住民の移動手段について、公共交通の視点から事業化を検討する。		
成果指標（KPI）	新たな地域公共交通の具体化本数		
取り組み状況・ 具体的成果	酒田市が令和4年8月1日に交通体系を改編することに伴い、庄内町が新たに庄内町デマンドタクシー余目酒田線の運行を開始した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
—	3 本	2 本	2 本
課題・今後の 方向性	今後も情報共有を図りながら、新規路線の導入や運行内容の改善を検討するとともに、利用促進活動を行う。		

No.37	政策分野 結びつきやネットワークの強化	分類 その他	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>婚活支援事業の拡大</b>		
事業内容	男女の出会いの場、婚活イベント等を広域で取り組む。		
成果指標 (KPI)	婚活支援事業での成婚件数 (圏域)		
取り組み状況・ 具体的成果	圏域を対象とした休日結婚相談会を6回開催した。また、婚活イベントを2回開催し、他町から合計で6名の参加があった。 圏域内の結婚サポーターを対象とした研修会を市主催で開催し、ハッピーサポートセンターや県庄内総合支庁で開催するサポーター向けの研修会について周知した。		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
31 件 (H30)	35 件	25 件	5 件
課題・今後の 方向性	結婚サポートセンターへの女性登録者が少なく、サポーターによる紹介だけでなく、イベントの開催も難しくなっている。引き続き、圏域内での支援の連携を図るとともに、センターの周知を行い、登録者および若い世代のサポーターの増加を目指す。		

No.38	政策分野 圏域マネジメント	分類 職員等の交流	協定町 三川、庄内、遊佐
連携事業	<b>合同研修・人事交流事業</b>		
事業内容	自治体間による人事交流および合同研修を実施する。		
成果指標 (KPI)	①各町との人事交流 ②合同研修実施後のアンケートの総合評価 (5段階評価)		
取り組み状況・ 具体的成果	平成27年度から、遊佐町、庄内町と各1名ずつ人事交流を行っている。遊佐町は令和4年10月末で交流終了。 係長級職員を対象とした合同研修 (JST研修) を実施し、効果的な業務管理・部下育成について意見交換を交えながら研修を行った。 実施日：令和4年6月28日～30日 受講者：19名 (酒田市13人、三川町2人、庄内町2人、遊佐町2人)		
基準値	R06 目標	R04 実績	R05 実績 (R5.8.31 時点)
① 4 人 (R1) ② 4.7 (R1)	① 6 人 ② 4.0	① 2 人 ② 4.7	① 2 人 ② 4.7
課題・今後の 方向性	人事交流については、引き続き成果や必要性を踏まえながら継続して取り組む。 合同研修 (JST研修) については、参加者同士が意見交換して進める内容であり、他の自治体職員と刺激し合うことで研修効果を高めることができるため、次年度も継続して実施する。		